

LOVE SAIJO ～全ては市民のため～

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

月日が経つのは早いもので、市長として皆さまと共に歩み始めて8回目の新年を迎えることとなりました。この間、市政各般にわたり、温かいご理解ご協力を賜り衷心より、厚く御礼申し上げます。

さて、市民生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症も、昨年「5類感染症」に移行し、さまざまなイベントや行事が再開され、コロナ禍前のにぎわいを取り戻しつつあることを大変うれしく思います。

私は、二期目の任期の仕上げの年となる令和六年の意気込みを表す漢字として、「成」を選びました。「成」には「成し遂げる、作り上げる、仕上げる」という意味があります。うるう年（閏年）である令和六年。市民の皆さまの生活に潤いをもたらす、「ずっと住み続けたい」そう思っていただけるまちを目指し、務めを全うする所存でございます。静かなる危機として進行する人口減少に対し、西条市を次世代にしっかりと受け継いでいくため、「持続可能都市西条2050」の実現に向け、各種施策に取り組んでまいります。

一方で、今年、本市は合併20周年という記念すべき節目の年を迎えます。これを祝し、さまざまな記念事業を計画中でございます。皆さまにもご参画いただくことで、近年失われてきた人と人とのつながりや地域とのつながりを再構築し、郷土への愛着と誇りがさらに醸成されることを願っています。

結びに、市民の皆さまにとって健康で幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

令和六年元旦

西条市長
玉井 敏久

謹賀新年

年頭の

ごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は市議会の活動に對しまして、温かいご理解とご支援により、円滑な議会運営ができましたことに心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行された中、4年ぶりに「西条まつり」をはじめとする地方祭が市内で通常開催されました。勇壮な

だんじりや太鼓台が集う豪華絢爛な姿が各地を鮮やかに彩り、コロナ禍前のにぎわいを取り戻した一年でありました。

本年は、本市合併20周年を迎える節目の年でございます。市政発展のため、これまでたゆまぬ努力を重ねてこられた多くのかたがたの歩みを振り返り、ふるさとへの愛着と誇りを再認識するとともに、一人一人が地域の未来を自分のこととして考え、市民の皆さまと行政による協働のまちづくりを進めていくことが重要となります。

私たち市議会議員におきましても、時代の流れに的確に対応した

議会活動に努め、行政と手を取り、市民の皆さまが「これからも住み続けたい」と実感できる地域づくりに尽力してまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新年が西条市にとりまして、さらなる飛躍の年となりますよう、皆さまには健康で笑顔があふれる輝かしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

令和六年元旦
新年のお慶びを申し上げます
西条市議会議員一同

西条市議会議長
坪井 剛

協働でまちをつくる
～ふるさとへの愛着と
誇りを原動に～

